## 国語科

## 3年間でつけたい力

学習の基盤となる資質・能力	現実的な諸問題に対応し求められる資質・能力
<言語能力>	<自分づくり>
<ul><li>感じたことを言葉にする力</li><li>身近な語彙の豊かさ</li><li>相手の思いを受け止めて聞く力</li><li>感情語彙の豊かさ</li><li>伝え合うことで自分の考えを深化させる力</li></ul>	<ul><li>○ 伝え合うことで自分の考えを深化させる力</li><li>○ 自分らしさを発揮しようとする姿勢</li><li>○ 他者を理解する態度・自己を理解する姿勢</li><li>○ 主体性・積極性</li></ul>

観点	目標	
知識・技能	〈1~3学年〉 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に 親しんだり理解したりすることができるようにする。	
思考・判断・表現	(1学年) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における 人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものすることができるようにする。 (2学年) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との 関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3学年) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりするとができるようにする。	
主体的に学習に 取り組む態度	〈1学年〉 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。 〈2学年〉 言葉がもつ価値に認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。 〈3学年〉 言葉がもつ価値に認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	

## 評価資料について

観点	指導する事項	主な評価の方法
知識・技能	(1)言葉の特徴や使い方に関して ・言葉の働き ・話し言葉と書き言葉 ・漢字 ・語彙 ・文や文章 ・言葉遣い ・表現の技法 ・音読、朗読 (2)情報の扱い方に関する事項 ・情報と情報との関係 ・情報の整理 (3)我が国の言語文化に関する事項 ・伝統的な言語文化 ・言葉の由来や変化 ・書写 ・読書 上記について、国語の特質を理解し、適切に使 う力を身に付けているかを評価します。	<ul><li>○定期テスト</li><li>○小テスト</li><li>○学習プリント・ワーク・ノート</li><li>○授業での言語活動</li><li>○書写</li><li>など</li></ul>
思考・判断・表現	A 話すこと ・話題の設定、情報の収集、内容の検討 ・構成の検討、考えの形成、表現、共有(話す) ・構造と内容の把握、精査、解釈、考えの形成、 共有(聞く) ・話し合いの進め方の検討、考えの形成、 共有(話し合い) B 書くこと ・題材の設定、情報の収集、内容の検討 ・構成の検討・考えの形成、記述・推敲 ・共有 C 読むこと ・構造と内容の把握・精査・解釈 ・考えの形成・共有 上記について、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力や思考力、想像力を身に付けているかを評価します。	<ul><li>○表現活動(スピーチなど)</li><li>○定期テスト</li><li>○小テスト</li><li>○学習プリント・ワーク・ノート</li><li>○授業での言語活動</li><li>など</li></ul>
主体的に学習に 取り組む態度	言葉がもつ価値を認識するとともに、言語文 化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を 図る態度を評価します。	<ul><li>○授業での言語活動</li><li>○学習プリント・ワーク・ノート</li><li>○学習の振り返り</li><li>○「知識・技能」や「思考力・判断力・表現力」の学習に対する取り組み</li><li>○読書カードなど</li></ul>